

子どもたちが 安心して 学べる学校に

教育全国署名にご協力ください



少人数学級の前進を

すべての小・中学校、高校を、国の責任で35人以下学級とするよう求めます。さらに、幼稚園や特別支援学級の学級定員の改善を求めます。

教育予算を
増やして

教職員定数の改善を

子どもたち一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するため、また、教職員の長時間過密労働を解消するため、教職員定数の抜本的な改善が必要です。

ゆきとどいた教育をすすめる会

全教／全国私教連／教組共闘連絡会／全国私学父母懇・私学助成をすすめる会連絡会／全国各地のすすめる会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階
TEL: 03-5211-0123 FAX: 03-5211-0124

国の責任で教育条件の整備を

国の責任で35人学級を

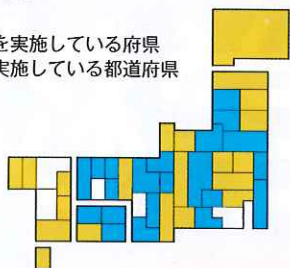
—少人数学級の前進を—

国の標準では、35人学級は小学校1年生だけで、残りは40人学級のままだです。加配定数などを使って少人数学級が広がっていますが、自治体の差がつく一方です。

教育の機会均等を保障するため国が責任をもって少人数学級をすすめる必要があります。

- ：小中学校全学年で少人数学級を実施している府県
- ：国の標準以上に少人数学級を実施している都道府県
- ：国の標準通りの府県

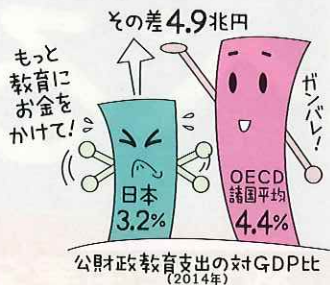
全国に広げよう
少人数学級



—教育全国署名30年のあゆみと成果—

- 1989年 「3000万署名」としてスタート
- 1991年 小・中・高40人学級完成
同時に自治体独自の35人学級等も広がる
- 2010年 公立高校授業料不徴収・私立高校への
就学支援金制度(～2012年)
- 2011年 小学校1年生35人学級実現
- 2012年 加配による小学校2年生35人学級実施
同年 国際人権A規約「無償教育条項」の留保を撤回 ※13条2項b、c
- 2017年 義務標準法改正による加配定数の一部基礎定数化始まる
同年 大学生への「給付型奨学金」始まる

4億5千万を
こえる署名が
国や自治体を
うごかして
きたんだね



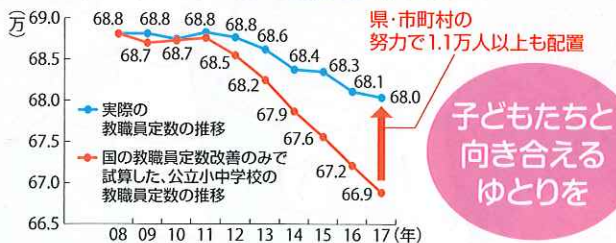
OECD平均まで
教育予算を引き上げると
幼稚園から大学まで教育無償
化(約4兆円)、30人学級・教職
員定数改善・給付奨学金拡充
(約2兆円)が実現可能。

ゆとりある学校で、子どもたちに笑顔を

—教職員定数改善を—

公立小中学校の教職員は2008年から2017年までに約1.9万人の定数削減がおこなわれました。一方、地方自治体は独自に教職員を配置し、教職員の実数減を約8千人におさえています。しかし、地方財政は厳しく、国が責任をもって必要な教職員をおくことが求められています。

2008年を起点としたときの教職員定数の推移



授業料無償化にほど遠い私立学校

—私立学校も無償に!—

私立学校では、高等学校等就学支援金で授業料の一部が補助されていますが、無償化にはほど遠い状況です。ヨ

OECD各国の後期中等教育(高校)教育費負担状況

OECD加盟国	国公立無償	私立無償	2012年度後期中等教育(高校)構成比		
			国公立(%)	公費私立(%)	独立私立(%)
スウェーデン	○	×	83	17	0
フィンランド	○	○	81	19	0
フランス	○	×	69	31	1
アメリカ	○	×	92	0	8
オランダ	○	○	91	0	9
日本	×	×	69	0	31
韓国	×	×	56	44	0
OECD平均			81	14	5

ロッパでは、私学への公費支出によって、保護者負担がほとんどありません。

ヨーロッパでは
保護者負担は
ほとんどない

「図表を見る教育」: OECDインディケータ2014年版より全国私教連が作成
「公費私立」…公費補助額が高校財源の50%以上の私立の教育機関
「独立私立」…公費補助額が高校財源の50%に満たない私立の教育機関

障害児学校の「設置基準」策定は急務

—障害児学校の過密・過大の解消を—

障害児学校では、増え続ける児童生徒に対する学校建設や教室やトイレなどの整備が追いついていません。他の学校種にはある「設置基準」が障害児学校にないことが問題の原因です。

学校や教室ふやして
十分な教育環境を

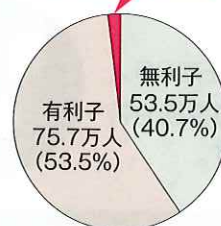


お金の心配なく学びたい

—給付奨学金制度の拡充を—

給付奨学金は
きわめてわずか

給付 2.3万人 (1.7%)



日本学生支援機構の奨学金利用者の内訳

大学・短大・専門学校などの学生約131万人が利用する日本学生支援機構の奨学金。その大半が「貸与制」で卒業後に返済しなければならぬ「借金」となっています。給付奨学金制度を大きく広げることが求められています。

奨学金は
返済不要が
世界の常識